

2017年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2016年11月

 全国保証株式会社

目次

- I . 決算の概要 P 3
- II . 今後の展開 P 10

2017年3月期 第2四半期決算サマリー

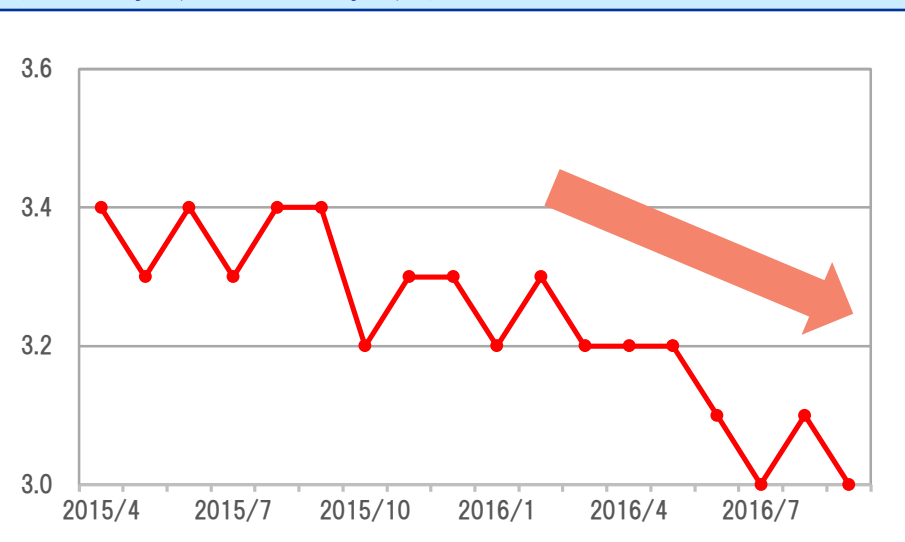
- 新設住宅着工戸数は前年同期を上回るなど、住宅市場は持ち直しの傾向
- 新規提携が進み、第2四半期累計期間にて銀行3行、信用金庫2金庫、JA6組合、労働金庫1金庫の合計12機関と契約締結
- 保証債務残高が堅調に推移し、営業費用が計画を下回ったことにより営業収益、利益ともに順調に推移
- 代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、営業費用(与信関連費用)は計画を下回る

I . 決算の概要

経済環境

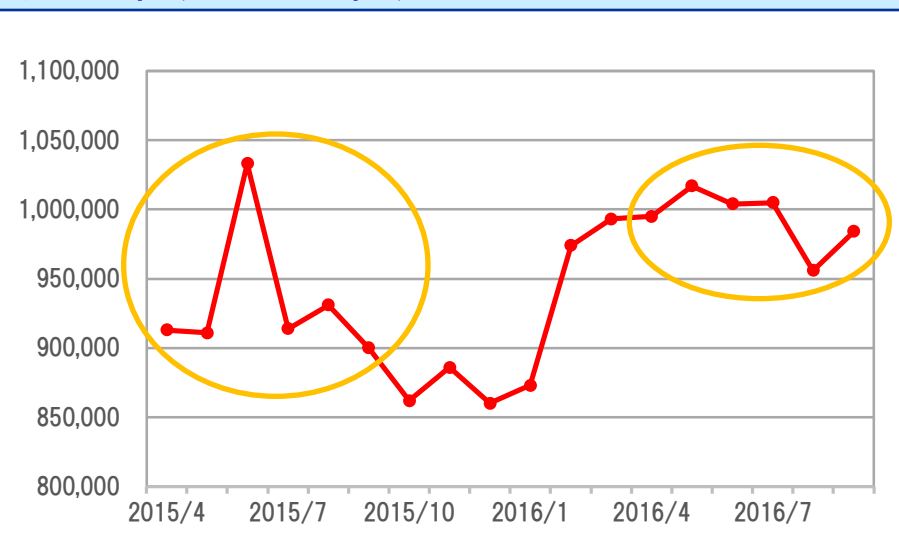
- 景気は緩やかな回復基調が続いたものの、アジア新興国における経済成長の鈍化など海外経済の減速が懸念されるほか、円高の進行による企業収益の改善に足踏みがみられるなど、先行き不透明な状況で推移
- 日本銀行のマイナス金利政策、政府の住宅取得支援策などを受け、新設住宅着工戸数が前年同期を上回り、住宅市場は持ち直しの傾向となった
- 住宅ローン市場については、住宅ローン金利低下により借換需要が刺激され、金融機関相互による案件獲得競争は激しさを増す

失業率(季節調整値)
(2015年4月~2016年9月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)
(2015年4月~2016年9月) (単位:戸)

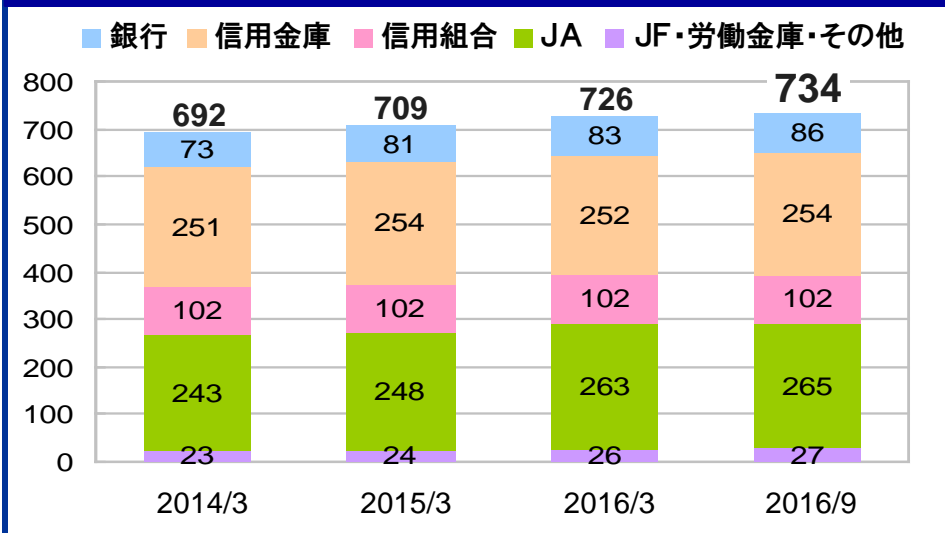


出所:国土交通省 住宅着工統計

提携金融機関数の拡大状況

業態別の提携金融機関数の推移

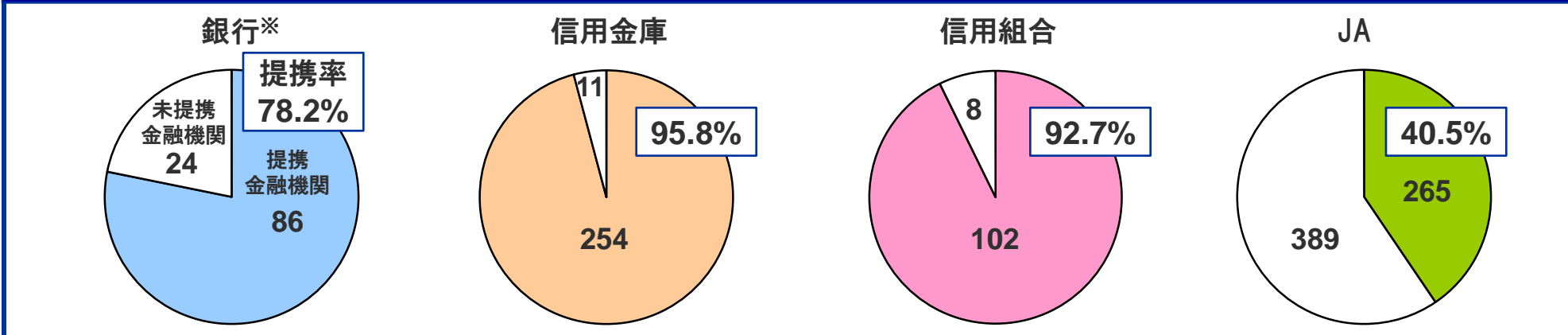
(単位:機関)



- 新規提携増加に努めた結果
2017年3月期第2四半期累計期間において
銀行3行、信用金庫2金庫、JA6組合、労働金庫1金庫
と契約締結

業態別の提携シェア

(単位:機関)

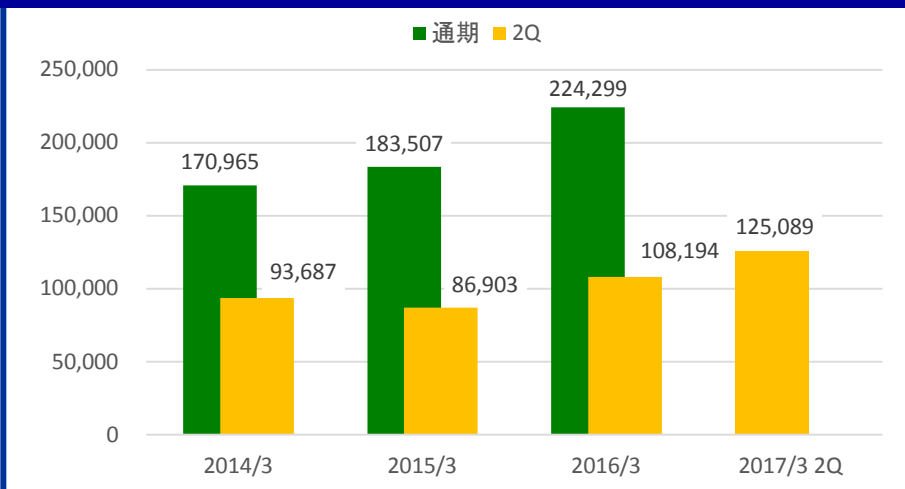


*銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行の合計

ローン保証業務の拡大状況

新規保証受付件数

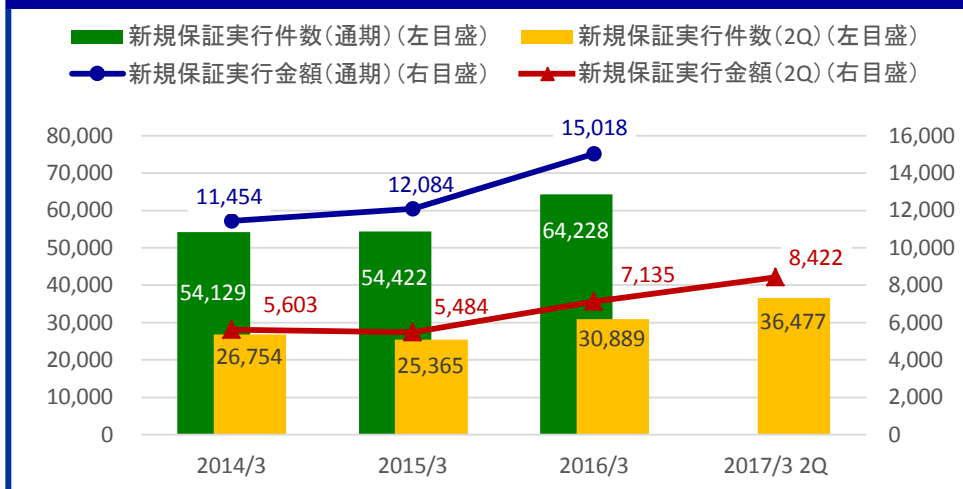
(単位: 件)



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

新規保証実行件数および新規保証実行金額

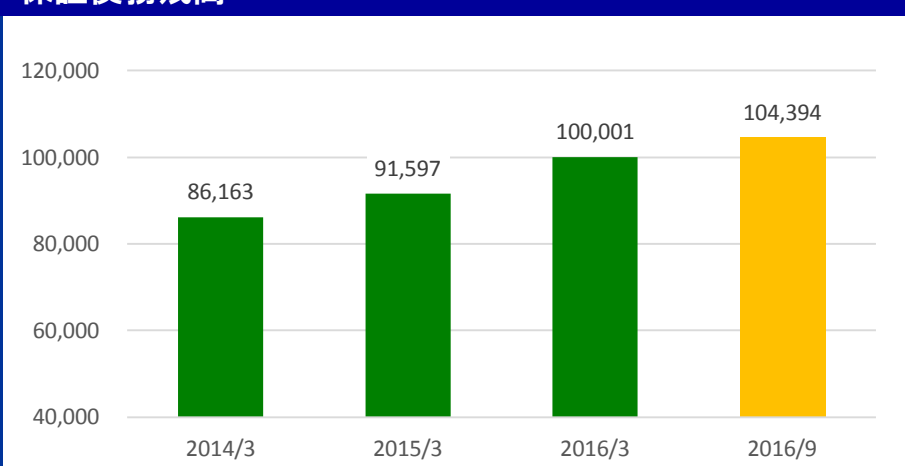
(単位: 件、億円)



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値。2016/3の新規保証実行件数・金額(通常・2Q)には吸収分割によって承継した保証債務を含まない

保証債務残高

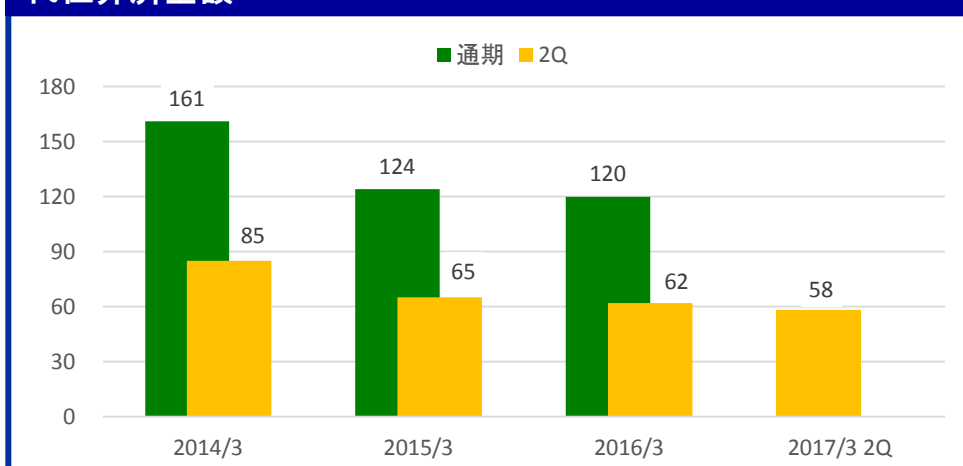
(単位: 億円)



※ 2016/3以降の保証債務残高には吸収分割によって承継した保証債務を含む

代位弁済金額

(単位: 億円)



2017年3月期 第2四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	16/3期 第2四半期	17/3期 第2四半期	前年 同期比
営業収益	12,558	14,311	14.0%
営業費用	2,641	3,959	49.9%
うち与信関連費用	157	1,130	616.4%
債務保証損失引当金繰入額	455	1,353	197.4%
貸倒引当金繰入額	▲297	▲222	▲25.0%
うちその他	2,483	2,829	13.9%
営業利益	9,916	10,352	4.4%
経常利益	10,304	10,873	5.5%
特別損益	—	▲441	—
四半期純利益	6,839	7,049	3.1%

ポイント

- 営業収益**
 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は143億11百万円を計上。
- 営業費用**
 代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、与信関連費用は11億30百万円となった結果、営業費用は39億59百万円を計上。
- 四半期純利益**
 上記の状況により、四半期純利益は70億49百万円を計上。

2017年3月期 第2四半期決算サマリー(B/S)

資産の部 (単位:百万円)			
	16/3期末	17/3期 第2四半期末	増減比
流動資産	176,377	176,678	0.2%
現金及び預金	149,289	151,994	1.8%
求償債権	11,989	12,269	2.3%
有価証券	7,077	4,873	▲31.1%
金銭の信託	10,291	10,134	▲1.5%
貸倒引当金	▲6,802	▲6,658	▲2.1%
固定資産	59,143	66,600	12.6%
投資その他の資産	58,527	66,017	12.8%
投資有価証券	50,374	56,041	11.2%
資産合計	235,520	243,278	3.3%

負債の部 (単位:百万円)			
	16/3期末	17/3期 第2四半期末	増減比
流動負債	27,071	25,693	▲5.1%
前受収益	13,476	14,057	4.3%
債務保証損失引当金	8,006	7,564	▲5.5%
固定負債	134,336	139,963	4.2%
長期前受収益	134,302	139,914	4.2%
負債合計	161,407	165,657	2.6%
純資産の部			
株主資本	74,278	77,540	4.4%
評価・換算差額等	▲221	▲10	▲95.4%
純資産合計	74,112	77,621	4.7%
負債・純資産合計	235,520	243,278	3.3%

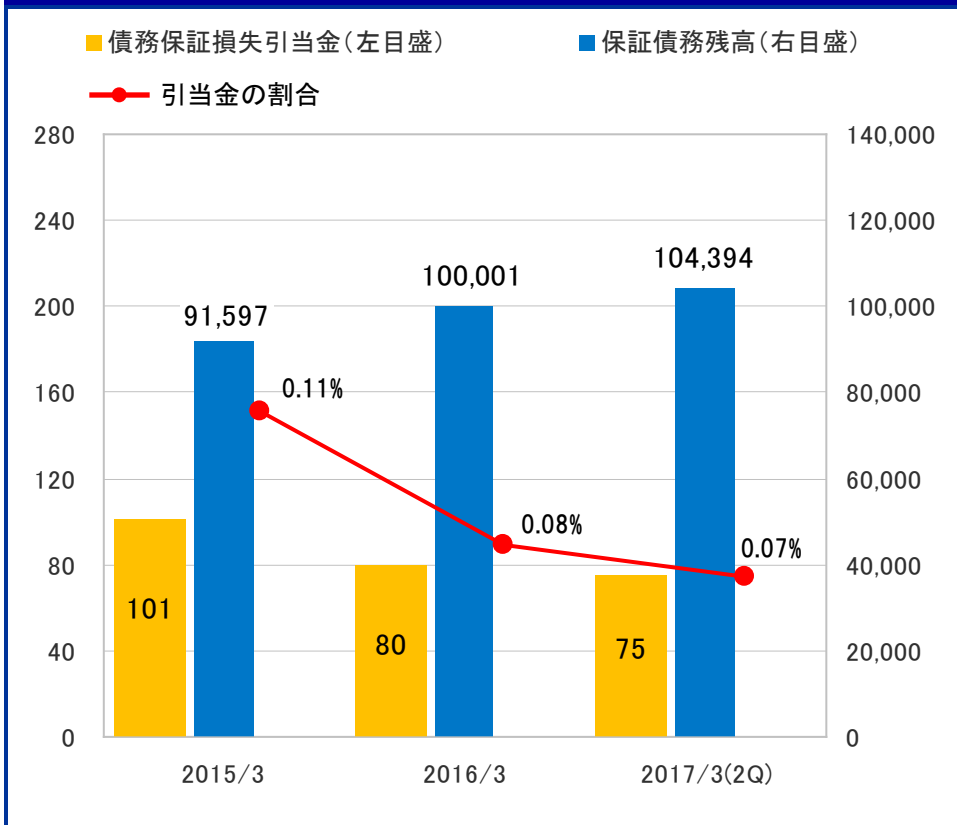
ポイント

- **資産**
新規保証実行件数の増加に伴い、「現金及び預金」、「投資有価証券」が増加。
- **負債**
保証債務残高の堅調な推移に伴い「前受収益」、「長期前受収益」が増加。

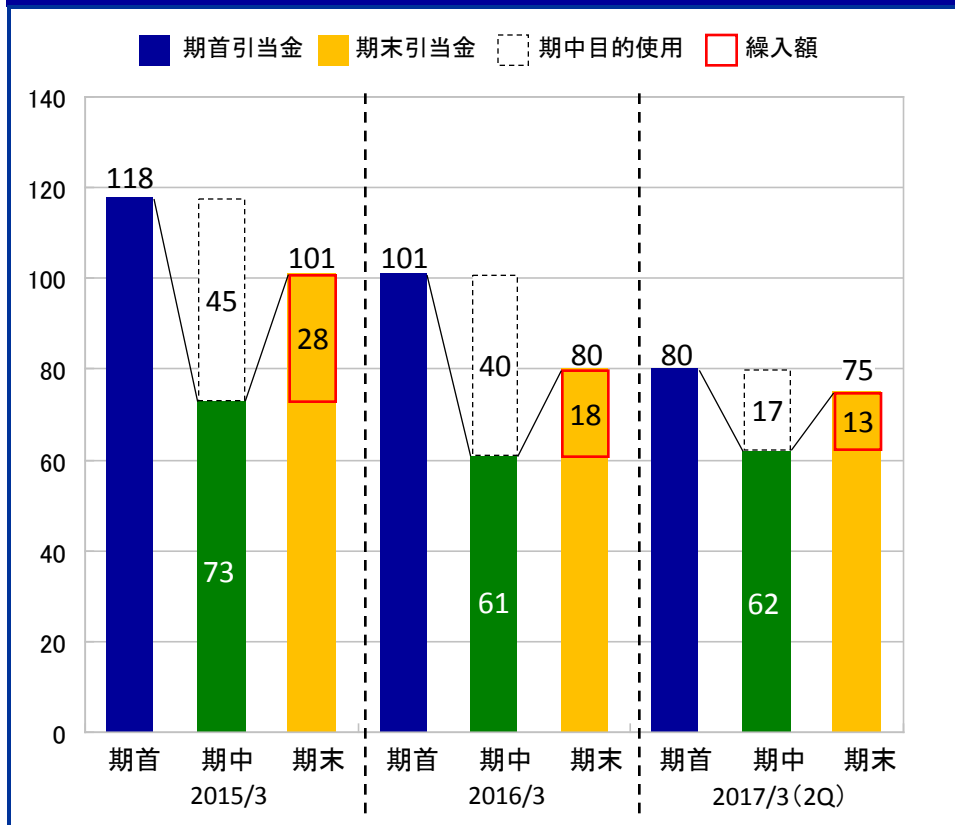
債務保証損失引当金について

- 保証債務残高に対する引当金の割合は低下
- 2017/3期第2四半期の債務保証損失引当金繰入額は、代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として計画を下回り、13億円(計画対比▲24.0%)となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



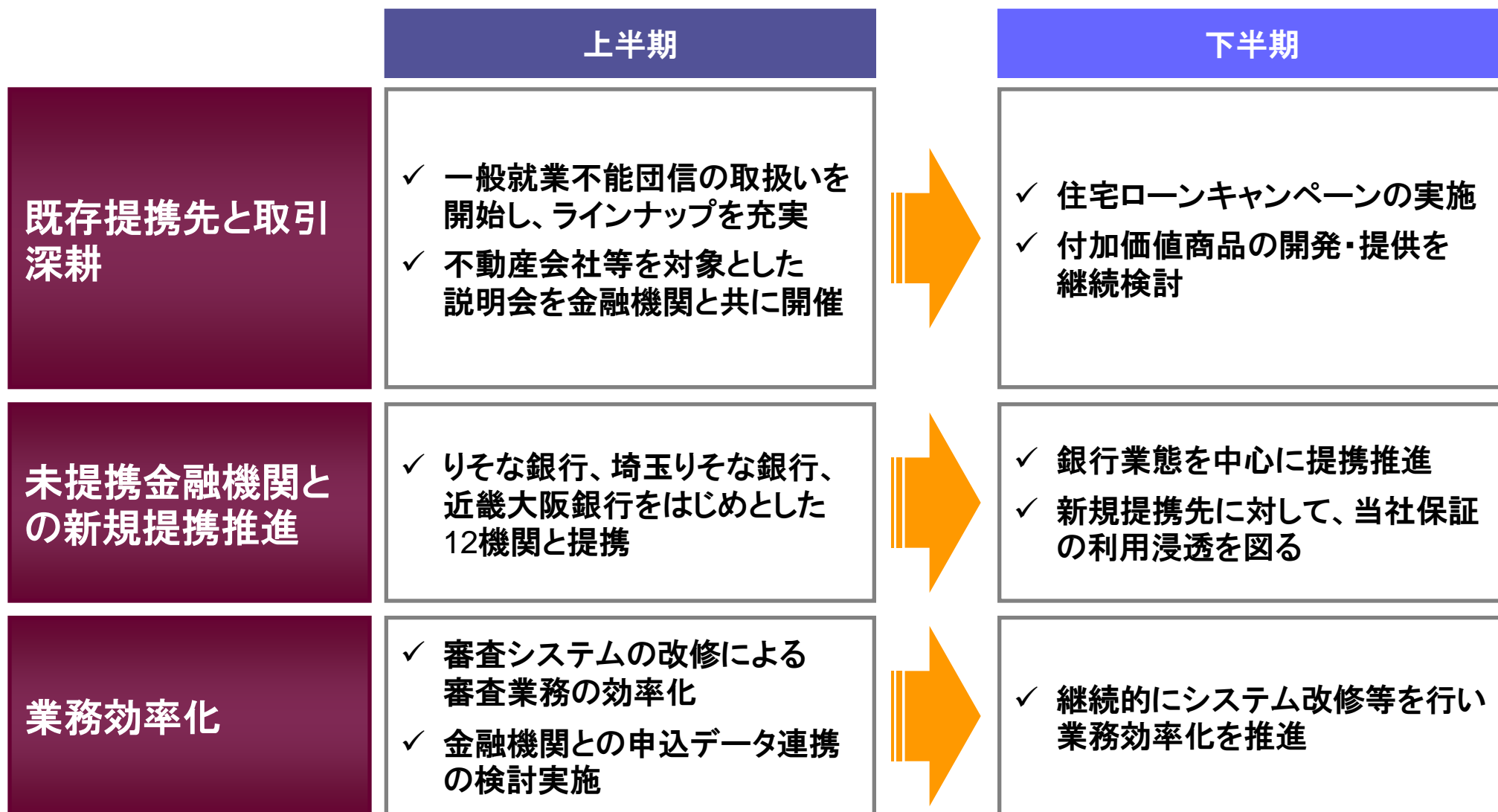
債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります

Ⅱ. 今後の展開

上半期の進捗状況・下半期の取り組み



業績予想

(単位:百万円)

	16/3期	17/3期		前期比
		第2四半期	通期予想	
営業収益	31,918	14,311	33,780	5.8%
営業費用	6,793	3,959	9,540	40.4%
うち与信関連費用	1,380	1,130	3,600	160.9%
債務保証損失引当金繰入額	1,800	1,353	3,920	117.8%
貸倒引当金繰入額	▲419	▲222	▲320	▲23.6%
うちその他	5,412	2,829	5,940	9.8%
営業利益	25,125	10,352	24,240	▲3.5%
経常利益	26,303	10,873	25,140	▲4.4%
当期純利益 (四半期純利益)	17,204	7,049	17,290	0.5%

業績予想の前提	
保証債務残高	10兆8,120億円
新規保証実行件数	67,500件
代位弁済金額	13,530百万円
求償債権回収	8,310百万円

その他	
ROE	19.7%
配当金(1株当たり)	55円